

令和元年度第25回通常総会を5月24日(金)奈良ロイヤルホテルにて開催した。

来賓として県土マネジメント部から入口和明まちづくり推進局次長と小島久男建設業・契約管理課課長補佐が出席。冒頭、森村会長は平成時代を振り返り「バブル崩壊やリーマンショック、コンクリートから人へなどの流れに就労者は減り続け、建設業にとって非常に厳しい時が続いた。また異常気象や震災など災害の発生に、インフラ整備の重要性が再認識された。」とし、続いて「特に昨年は記録的な猛暑が続いたこともあり、今年度は教育施設の空調整備への需要が高まる中、慢性的な人で不足と若年層の入職が少ないため、高齢化が更に進む事態に」と業界が抱える課題に触れ「我々業界きつい・危険等のイメージを持たれている。それらイメージを払拭する努力と入職者を増やすためのPR活動に全力で取り組み、人手不足解消に努めたい。」と挨拶した。続いて来賓代表で入口次長より祝辞を頂いた。

入口次長は建設業界を取り巻く環境に触れた後、「担い手の確保と育成は中長期的に取り組んでいかなければならない課題の一つ。官民一体となりわくわく建設体験のようなイベントを通し今年も取り組みたい」と述べられた。



森村会長

入口まちづくり推進局次長

表彰に移り、永年勤務し若年技術者の育成に成績優秀な労苦に報いる永年勤続優良社員表彰に藪内直樹氏（新世紀建工(株)勤続20年）武内清英氏（(株)森村設備勤続23年）向山宏高氏（吉田機電(株)勤続24年）榎原登紀子氏（福井水道工業(株)勤続26年）また、優秀な技術者を育成する技能功労賞に弘田功一氏（林設備工業(株)）西村一幸氏（松田電気工業(株)）今井好次氏（福井水道工業(株)）の7人が選ばれ森村会長から表彰状と記念品が渡された。



その後、森村会長を議長として議案の審議に移り30年度事業報告、同決算報告（監査報告）元年度事業計画、同収支予算案の審議を行い原案通り可決承認された。